

# 令和 3 年 度

## 小学校教員資格認定試験

### 教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

#### 注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、「音楽」、「図画工作」、「体育」のうち 2 教科以上を含む 6 教科を選択して受験してください。
3. 氏名、受験番号を令和 3 年度「小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
4. 受験番号、受験教科をマークしてください。
5. 「解答カード」の中で特に受験番号、受験教科の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
6. 解答は全て選択教科の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
7. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。  
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。  
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
8. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 180 分です。
9. 試験が終わるまで退室できません。
10. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
11. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
12. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。 [マーク例]
13. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
14. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。 (よい例) ●

(悪い例) ○ ⊗ ⊕ ⊙

# 目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	11
3. 算 数	19
4. 理 科	27
5. 生 活	33
6. 音 楽	39
7. 図画工作	43
8. 家 庭	51
9. 体 育	57
10. 外国語(英語)	65

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

国 語

問 1 「小学校学習指導要領」の各学年の「2 内容〔知識及び技能〕(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に示されている「文や文章に関する事項」に基づいた指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第2学年では、修飾と被修飾との関係を理解させる必要があることから、「風が ふく」という文をより詳しくするためにどんな修飾語を加えることができるかを考えさせる指導をした。

イ 第2学年では、指示する語句の役割を理解させる必要があることから、文章の中で用いられている「こそあど言葉」を使った表現が何を指しているのかを考えさせる指導をした。

ウ 第4学年では、接続する語句の役割を理解させる必要があることから、「毎日ピアノの練習をしてコンクールに参加した。」に続く文を「つなぎ言葉」を用いて考えさせる指導をした。

エ 第5学年では、段落の役割について理解させる必要があることから、形式段落と意味段落の違いを教えるとともに、文章の構成や展開を考えさせる指導をした。

問 2 「小学校学習指導要領」の各学年の「2 内容〔知識及び技能〕(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に示されている「書写に関する事項」に基づいた書写の指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第2学年の児童に、書き初めでフェルトペンを使用して「大きなゆめ」と書かせる際、漢字と仮名の大きさや配列に注意して書くよう指導した。

イ 第4学年の児童に、2分の1成人式のために書いた「十年後のわたし」と題した短文を色紙に書かせる際、自分で適切な筆記具を選び、その特徴を生かして書くよう指導した。

ウ 第5学年の児童に、国語科で学習した俳句の中から好きな句を選び、小筆を使用して書かせる際、行書の特徴である文字と文字とのつながりに注意し、行の中心を揃えて書くよう指導した。

エ 第6学年の児童に、国語科でつくった短歌をフェルトペンを使用して短冊に書かせる際、用紙全体に着目して文字の大きさや配列を考えて書くよう指導した。

問 3 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと」に示された指導事項に基づく第 5 学年の学習活動である。この学習活動を行う際の指導として適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「自分の考えを明確にして、話し合おう」という単元である。読書週間を迎えるに当たり、多くの人が本を好きになるためには、どのようにすればよいか。その意見や提案など、自分の考えを明確にしながら話し合う活動をしたい。

- ア 議題を確かめ、その目的や条件を考えて、事前に話合いの内容や順序、時間配分などの進行計画を立て、それに沿って計画的に話し合うよう指導した。
- イ 話し合う活動が円滑に進行するように、司会や記録係の役割を分担した上で、司会者は自分の意見をはっきりと示しながら、進行表に沿って話合いを進めるよう指導した。
- ウ 対立した意見が交わされても、互いに言い負かすことを目的とせず、異なる立場からの考えを聞き、その理由を尋ね合いながら、更に考えを広げたりまとめたりするよう指導した。
- エ 話合いの後、考えをまとめる際には、友達の意見と自身の考えとを比較しながら、互いの意見の共通点や相違点、利点や問題点などをまとめるよう指導した。

問 4 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕B 書くこと」に示されている指導事項に基づいた第4学年の学習活動である。この学習活動の後に指導する内容として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「調べたことをまとめよう」という単元である。「新しく誕生した市立図書館のよさを知り、私たち小学生の読書熱につなげよう」という目標を設定して、調べたことをもとに自分の考えをまとめて書くための指導を行っている。前時までの学習では、図書館を見学するとともに、自分たちの読書量や内容について、学校司書の先生にもインタビュー調査を行い、データを収集させる指導を行ってきた。

- ア 事柄の順序に沿って書くことが大事なので、集めた資料の順序に沿いながら文章を組み立てた上で、まとめて書く指導を行う。
- イ 取材で知ったことは全て書くことが大事なので、取材メモを基に、様々な情報を分かりやすく伝えるための表現を工夫して書く指導を行う。
- ウ 自分の考えをはっきりさせて書くことが大事なので、調べて分かったことを内容ごとに分類した上で、文章の組立てを考えて書く指導を行う。
- エ グラフや表を用いて説得力のある文章を書くことが大事なので、集めた資料を、自分の考えを裏付けるためのグラフや表に表して書く指導を行う。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 1 学年及び第 2 学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと」の(1)のア及びウでは、次のように示されている。これらの内容をねらいとした具体的な指導として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。  
ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。

- ア 説明的な文章を読む際、「まず」、「やがて」など、順序を表す言葉を見付けさせ、そうした言葉に着目させながら、結論とその理由など、段落相互の関係に着目させる指導をした。
- イ 説明的な文章を読む際、題名や見出し、絵や写真なども手掛かりにさせながら、文章全体の内容の把握と各段落の内容をつかませる指導をした。
- ウ 説明的な文章を読む際、各段落の中にある大事な言葉を見付けさせながら、それらの言葉を用いて各段落の要約を書かせる指導をした。
- エ 説明的な文章を読む際、「おもしろいな」と感じたり「なるほど」と気付いたりしたことを書かせ、選び出した重要な語や文と比較させる指導をした。

問 6 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

酒井邦嘉『科学者という仕事』

許諾を得ておらず不掲載

上の文章中の傍線部A  とあるが、歌の解釈上  に当てはまらない和歌を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- |   |   |      |
|---|---|------|
| ア | さくら花ちりぬるかぜのなごりには水なき空に浪ぞたちける                 | 紀貫之  |
| イ | 世中 <sup>よのなか</sup> にたえてさくらのなかりせば春の心はのどけからまし | 在原業平 |
| ウ | いにしへの奈良のみやこの八重ざくらけふ九重ににほひぬるかな               | 伊勢大輔 |
| エ | 花の色はうつりにけりないたづらにわが身世にふるながめせしまに              | 小野小町 |

(『古今和歌集』、『詞花和歌集』より)

問 7 問 6 の文章中の傍線部 B「風流」の「風」と同じ意味で「風」の字が使われている熟語を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 風致
- イ 風習
- ウ 風説
- エ 風景

問 8 問 6 の文章中、筆者が述べている内容としてふさわしくないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 科学者である筆者は、桜の花の抽象化と理想化を大胆に行うことによって、桜の花の特徴の中から「正五角形」を取り出し表現した。
- イ 筆者は、科学者特有の桜の愛で方を紹介した例を挙げ、様々な自然現象が、抽象化と理想化によって整理できるということを説明している。
- ウ 科学者である筆者は、普遍的な法則を見付けるためには、その前提として、規則的な法則であるはずの桜の花の遺伝子を突きとめることが必要であると考えている。
- エ 筆者は、桜の花を科学的に捉え、本質以外のものを切り捨てた結果としてきれいな「正五角形」を見いだしたところに、科学者としての美意識があると考えている。

問 9 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

倣うと習うが緊密な関係にあるのはいうまでもない。むしろ、真に学ぶとは、習いつつ、倣っていくことだといってもよい。しかし、人は、いつしか時間を費やして「習う」ことの意味を見失っていった。

模倣はすぐに実行できるが、影響を受けていたことを知るのには、その人と出会ってから数十年の月日を経た後である場合も少なくない。似たような考えを述べ、ふるまうことはできたとしても、その人の本性を真似することはできない。影響を受けたいと強く願い、結果的に模倣に陥る。この悲劇を免れるためにも人は学ばねばならない。

子の曰わく、吾れ十有五にして学に志す。三十にして立つ。

(『論語』金谷治訳注)

ここでいう「学に志す」とは、真に「私」の道を歩き始めることにほかならない。それは模倣から脱却する時期だといってもよい。

誰かを模倣することで、世界はより広く見える心持ちがするかもしれない。だが、重要なのは、広く「見る」ことだけでなく、深く「観る」ことではないだろうか。

見ることしかできず、観ることのない世界では、友情も情愛も信頼も深まることはない。偏見という言葉があるように、「見る」ことは、しばしば大きな偏りを生む。しかし、時間をかけて「観る」ことは、その人の人生観を養う。

現代人は、なるべく多くのものを、なるべく短い時間で見たいと願う。だが、かえってそれは「観る」ことの拒絶につながる。

(若松英輔『種まく人』)

上の文章中、筆者が述べている内容に当てはまるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「見る」と「観る」との違いは、影響を受けたい人の本性を真似できるかどうかにある。
- イ 現代人は、世界を広く学ぼうとして、多くのものを模倣することに時間をかける傾向がある。
- ウ 「学に志す」とは人生観を養うことであり、影響を受けたい人の模倣によって生まれていく。
- エ 真の学びは、習うことの意味を見失わず、時間をかけて「観る」ことによって生まれていく。

問10 次の文は、問9の文章中にある『論語』の一節である。漢文中の傍線部の書き下し文として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

子曰、「君子和而不同、  
小人同而不和。」

- ア 君子は和して同ぜず，小人は同じて和せず
- イ 君子は和せずして同ぜず，小人は同ぜずして和す
- ウ 君子は和をもって同ぜず，小人は同をもって和せず
- エ 君子は和して同ぜることなし，小人は同じて和することなし

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

社 会

問 1 インクルーシブ教育の推進によって、通常の学級においても、発達障害を含む障害のある児童が在籍している可能性があることを前提に、全ての教科等において、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や支援をすることが求められている。『小学校学習指導要領解説』の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項」に基づいて、社会科の学習場面における障害のある児童への配慮として、適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 地図等の資料から必要な情報を読み取ることが困難な児童に対して、地図の見る範囲を限定したプリントを作成し、掲載されている情報を精選するように工夫した。

イ 社会的事象に興味・関心がもてない児童に対して、特別活動との関連付けをしながら、社会の営みと身近な生活がつながっていることを実感できるように、具体的な体験や作業を取り入れた学習となるように工夫した。

ウ 予想を立てることが困難な児童に対して、見通しがもてるようヒントになる事実をカードに整理して示し、学習順序を考えられるように工夫した。

エ まとめで場面を考える視点が定まらない児童に対して、自由に書き込めるワークシートを作成し、多様な発想で考えられるように工夫した。

問 2 第 3 学年における「身近な地域や自分たちの市区町村の様子」の単元の学習で、身近な地域や市区町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することとした。次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 各学年の目標及び内容 第 1 節 第 3 学年の目標及び内容 2 第 3 学年の内容」の記述の一部である。空欄 ① ~ ② に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

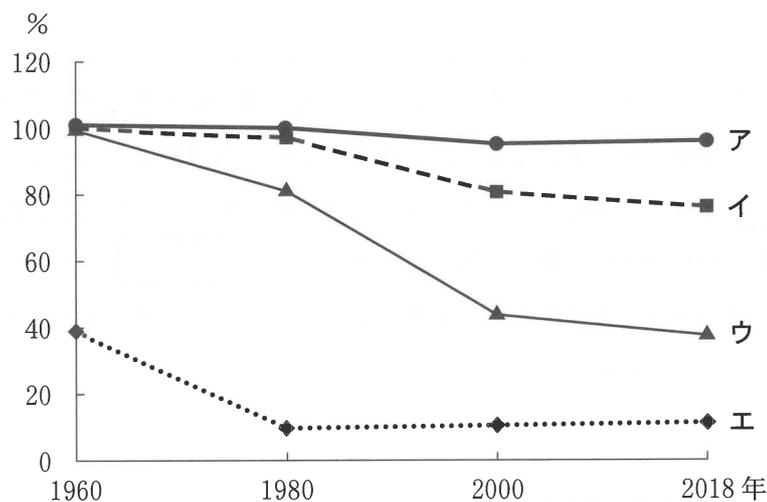
場所による違いを考え、表現することとは、例えば、駅や市役所の付近、工場や住宅の多いところ、田畑や森林が多いところ、伝統的なまち並みがあるところなど、場所ごとの様子を ① たり、主な道路と工場の分布、主な駅と商店の分布など土地利用の様子と、交通などの社会的な条件や土地の高低などの地形条件を ② たりして、市内の様子は場所によって違いがあることを考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことを基に説明したりすることである。

- ア ①調べ            ②関連付け
- イ ①調べ            ②話し合っ
- ウ ①比較し        ②関連付け
- エ ①比較し        ②話し合っ

問 3 第 5 学年の「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」の単元において、我が国で発生した四大公害病の発生時期や経過について調べて発表する活動を行った。四大公害病が発生した場所を含まない都道府県を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 熊本県
- イ 栃木県
- ウ 富山県
- エ 新潟県

問 4 第 5 学年における「我が国の農業や水産業における食料生産」の単元の学習で、我が国の主な農産物の自給率の変化について調べた。次の図は、我が国の主な農産物の自給率の変化を示したものであり、図中のア～エは、果実、小麦、米、野菜のいずれかである。果実に当てはまるものを、図中のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



『日本国勢図会 2020/21年版』より作成  
(注) 2018年は概算値である。

問 5 第 5 学年における「貿易や運輸」に関する学習で、我が国の主な交通機関による輸送量について調べた。次の表は、我が国の主な交通機関による国内貨物輸送量と国内旅客輸送量(2017年度)を示したものであり、表中のア～エは、航空、自動車、船舶、鉄道のいずれかである。鉄道に当てはまるものを、表中のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	国内貨物輸送量		国内旅客輸送量	
	百万トン	百万トンキロ	百万人	百万人キロ
ア	4,509	212,522	69,402	904,967
イ	360	180,934	88	3,191
ウ	45	21,663	24,973	437,363
エ	1	1,068	102	94,549

\* トンキロは、各輸送貨物のトン数にその輸送した距離を乗じたもの

\* 人キロは、旅客数に各旅客の乗車した距離を乗じたもの

『日本国勢図会 2020/21年版』より作成

問 6 第 6 学年における「我が国の政治の働き」の単元について、「小学校学習指導要領」に基づいた学習指導の在り方を述べた文として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア A 先生は、国会などの議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、裁判員制度や租税の役割などについて扱い、国民としての政治への関わり方について多角的に考えて、自分の考えをまとめることができるようにした。

イ B 先生は、「天皇の地位」について、日本国憲法に定める天皇の国事に関する行為など児童に理解しやすい事項を取り上げ、歴史に関する学習との関連も図りながら、天皇についての理解と敬愛の念を深めるようにした。

ウ C 先生は、「国や地方公共団体の政治」について、社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組の中から選択して取り上げた。

エ D 先生は、「国会」について、国会が持つ権限の大きさを実感することができるよう配慮して、国民の祝日が法律によって定められていることに触れた。

問 7 第 6 学年の学習において、我が国における選挙制度の変遷を調べて発表する活動を行った。我が国における選挙制度の変遷について述べた文として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 1889 年には、満 25 歳以上、直接国税 15 円以上を納める男子に選挙権が認められた。

イ 1919 年には、満 25 歳以上、直接国税 10 円以上を納める男子に選挙権が認められた。

ウ 1925 年には、満 25 歳以上、直接国税 3 円以上を納める男子に選挙権が認められた。

エ 1945 年には、満 25 歳以上の男女に選挙権が認められた。

問 8 第 6 学年における「グローバル化する世界と日本の役割」の単元で、「国際連合の働き」について様々に調べる学習を行った。国際連合の組織や諸機関の取組として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 国際連合は、1945 年に発足し、総会、安全保障理事会、経済社会理事会、事務局などの主要機関と、多くの専門機関、補助機関で構成されている。

イ 国際連合の専門機関には、国連教育科学文化機関(ユネスコ)や国連児童基金(ユニセフ)のほか、国際労働機関、国際通貨基金、国際司法裁判所などがある。

ウ ユネスコが登録する世界遺産は、文化遺産、自然遺産、複合遺産に区分され、専門機関である国連食糧農業機関は、世界農業遺産を認定している。

エ ユニセフは、ニューヨークに本部を置き、すべての子供の命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子供たちを最優先に、保健、栄養、水と衛生、教育、暴力や搾取からの保護などの支援活動を行っている。

問 9 小学校社会科においても、内容のまとめりごとに評価を行うことが求められている。『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 社会』(令和 2 年 3 月国立教育政策研究所)で示されている「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の「観点ごとのポイント」の記述として、適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「知識」については、学習指導要領に示す「2 内容」の「知識」に関わる事項に示された「…を理解すること」の記述を当てはめ、それを児童が「…理解している」かどうかの学習状況として表し、評価規準を設定する。

イ 「技能」については、学習指導要領に示す「2 内容」の「技能」に関わる事項に示された「…調べたりして、…まとめること」の記述を当てはめ、それを児童が「…調べたりして…まとめている」かどうかの学習状況として表し、評価規準を設定する。

ウ 「思考・判断・表現」については、学習指導要領に示す「2 内容」の「思考力、判断力、表現力等」に関わる事項に示された「…着目して、…を捉え、…考え、…表現すること」の記述を当てはめ、それを児童が「…着目して、…を捉え、…考え、…表現している」かどうかの学習状況として表し、評価規準を設定する。

エ 「主体的に学習に取り組む態度」については、学習指導要領に示す「2 内容」の「学びに向かう力、人間性等」に関わる事項で示された「…の態度を養い、…の能力を獲得すること」の記述を当てはめ、それを児童が「…の態度を養い、…の能力を獲得している」かどうかの学習状況として表し、評価規準を設定する。

問10 次の各文章は、日本国憲法の条文である。各条文における ① ~ ④ に当てはまる正しい語句の組合せを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第11条 国民は、すべての ① の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する ① は、侵すことのできない ② の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

第12条 この憲法が国民に保障する ③ 及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであって、常に ④ のためにこれを利用する責任を負う。

	①	②	③	④
ア	基本的人権	永久	自由	公共の福祉
イ	自由	天賦	身分	公共の福祉
ウ	基本的人権	天賦	自由	社会の秩序
エ	自由	永久	身分	社会の秩序

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

算 数

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』における「数学的活動」に関する記述の一部である。空欄 ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

数学的活動とは、事象を数理的に捉えて、算数の問題を見だし、問題を ① に解決する過程を遂行することである。数学的活動においては、単に問題を解決することのみならず、 ② や結果を振り返って、得られた結果を捉え直したり、新たな問題を見いだしたりして、 ③ に考察を進めていくことが大切である。

- |   |            |           |           |
|---|------------|-----------|-----------|
| ア | ① 自立的, 協働的 | ② 解決の方針   | ③ 主体的・対話的 |
| イ | ① 自立的, 協働的 | ② 問題解決の過程 | ③ 統合的・発展的 |
| ウ | ① 主体的, 対話的 | ② 問題解決の過程 | ③ 主体的・対話的 |
| エ | ① 主体的, 対話的 | ② 解決の方針   | ③ 統合的・発展的 |

問 2 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』における「第 2 章 算数科の目標及び内容 第 2 節 算数科の内容 2 各領域の内容の概観 D データの活用」の記述の一部である。空欄 ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

統計的な問題解決では、結果が定まっていない不確定な事象を扱うため、データの特徴や傾向を捉えても、結論を断定できない場合や立場や捉え方によって結論が異なってくる場合もある。そのため、自分たちが行った ① や集めたデータ、表やグラフを用いての分析の仕方など、問題解決の過程や結論について異なる観点や立場などから ② に捉え直してみたり、誤りや矛盾はないかどうか妥当性について ③ に考察したりすることが重要である。

- |   |        |       |       |
|---|--------|-------|-------|
| ア | ① 調査活動 | ② 多面的 | ③ 論理的 |
| イ | ① 問題設定 | ② 多面的 | ③ 批判的 |
| ウ | ① 調査活動 | ② 客観的 | ③ 批判的 |
| エ | ① 問題設定 | ② 客観的 | ③ 論理的 |

問 3 次の①～④は、基本的な量の大きさを比べる場面を示したものである。それぞれの場面で用いられている方法の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 机の横幅と黒板の縦の長さを比べるために、机の横幅と同じ長さの紙テープを用意し、その紙テープと黒板の縦の長さを比べることによって大小判断をする。
- ② 2本の鉛筆 A, B の長さを比べるために、一方の端を揃えて、他方の端の位置によって大小判断をする。
- ③ 校庭にある2本の木の幹の太さを比べるために、一方の木にひもを巻き付けて幹の太さと等しいひもを作り、そのひもをもう一方の木に巻き付けて、ひもが余るか足りないかによって大小判断をする。
- ④ 机の縦の長さや横の長さを比べるために、縦、横それぞれの長さが鉛筆の長さの幾つ分か測って、その測定値を比べることによって大小判断をする。

- ア ① 間接比較  
② 直接比較  
③ 間接比較  
④ 任意単位を用いた測定による比較
- イ ① 任意単位を用いた測定による比較  
② 直接比較  
③ 間接比較  
④ 普遍単位による比較
- ウ ① 間接比較  
② 直接比較  
③ 任意単位を用いた測定による比較  
④ 普遍単位による比較
- エ ① 直接比較  
② 間接比較  
③ 直接比較  
④ 任意単位を用いた測定による比較

問 4 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 3 学年〕 2 内容 B 図形」に、「(1) 図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」とある。第 3 学年において身に付ける知識及び技能として、正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 基本的な図形と関連して角について知ること。
- ② 直線の平行や垂直の関係について理解すること。
- ③ 円について、中心、半径、直径を知ること。また、円に関連して、球についても直径などを  
知ること。
- ④ 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。

ア ①と③                      イ ②と④                      ウ ①と④                      エ ②と③

問 5 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 各学年の目標及び内容 第 3 節 第 3 学年の目標及び内容 2 第 3 学年の内容 A 数と計算 A(4) 除法」において説明されている「包含除」の文章題として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 6 枚の折り紙を、3 人に同じ数ずつ分けると、一人分は何枚ですか。
- イ 画用紙が 15 枚ありました。8 枚使いました。画用紙は何枚残っていますか。
- ウ ある大学の専攻の希望者は 24 人でした。これは定員の 3 倍に当たります。その専攻の定員は何人ですか。
- エ 子供 35 人が、7 人ずつの組に分かれて縄跳びをします。縄跳びの組は何組できますか。

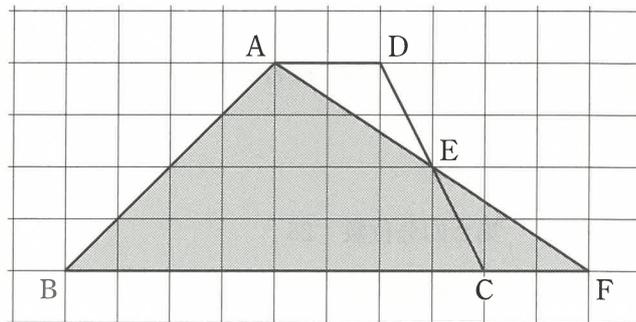
問 6 縮尺 30,000 分の 1 の地図に、縦 3 cm、横 4 cm の長方形の土地がある。この土地の実際の面積として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア  $36 \text{ m}^2$                       イ 10,800 a                      ウ 360 ha                      エ  $10.8 \text{ km}^2$

問 7 台形 ABCD を以下の手順で等積変形し三角形 ABF を作る時、下の図は、その変形前と変形後を表している。この図において、 $\triangle AED$  と  $\triangle FEC$  が合同であることを証明する際に用いる三角形の合同条件として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

手順

- ① 辺 DC の中点に点 E をとる。
- ② 点 A から点 E を通るように直線を引く。
- ③ 辺 BC を点 C 側に延長し、②で引いた直線との交点を点 F とする。



- ア 3組の辺がそれぞれ等しい  
 イ 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい  
 ウ 斜辺と他の一辺がそれぞれ等しい  
 エ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

問 8 ある数の集合において演算が定義されているとき、その集合に含まれる任意の二つの数の演算の結果が、常にその集合の要素であるならば、その集合は演算について「閉じている」という。数の集合における演算について述べた次の文のうち正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自然数の集合は、加法、減法について閉じているが、乗法、除法については閉じていない。
- イ 自然数の集合は、加法、乗法について閉じているが、減法、除法については閉じていない。
- ウ 自然数の集合は、加法、減法、乗法、除法のすべての演算について閉じている。
- エ 自然数の集合は、加法、減法、乗法、除法のすべての演算について閉じていない。

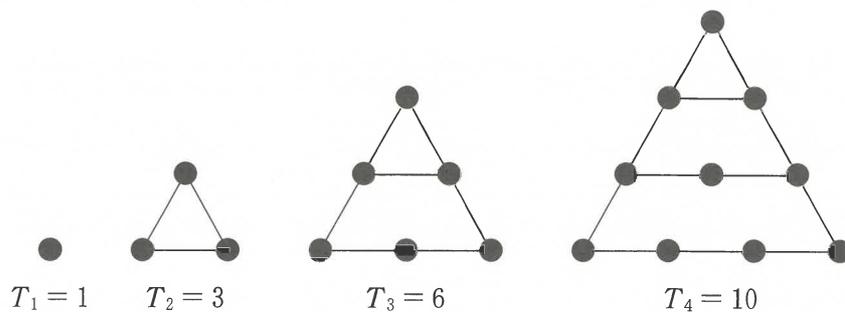
問 9 次の資料は、10人の生徒が1年間に読んだ本の冊数を調べたものである。

(単位 冊)									
14	37	32	25	22	28	18	42	7	50

この資料の第1四分位数と第2四分位数の組合せとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 第1四分位数 18      第2四分位数 25
- イ 第1四分位数 20      第2四分位数 28
- ウ 第1四分位数 18      第2四分位数 26.5
- エ 第1四分位数 20      第2四分位数 26.5

問10 次の図のような規則で三角形状に並べられた点の個数からなる数列を三角数といい、 $n$  番目の三角数を  $T_n$  という記号で表す。このとき、 $T_{100}$  の値として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- ア 10,100      イ 1,010      ウ 4,040      エ 5,050

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

理 科

問 1 『小学校学習指導要領解説』では「小学校では、学年を通して育成を目指す問題解決の力を示している。」と記されている。「学年を通して育成を目指す問題解決の力」として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第3学年では、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだすといった問題解決の力の育成を目指している。この力を育成するためには、複数の自然の事物・現象を比較し、その差異点や共通点を捉えることが大切である。

イ 第4学年では、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想するといった問題解決の力の育成を目指している。この力を育成するためには、自然の事物・現象同士を関係付けたり、自然の事物・現象と既習の内容や生活経験と関係付けたりすることが大切である。

ウ 第5学年では、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想するといった問題解決の力の育成を目指している。この力を育成するためには、自然の事物・現象に影響を与えると考えer要因を予想し、どの要因が影響を与えるかを調べる際に、これらの条件を制御するといった考え方をを用いることが大切である。

エ 第6学年では、主に自然の事物・現象についての要因や規則性、関係を推論しながら調べるといった問題解決の力の育成を目指している。この力を育成するためには、自然の事物・現象について自分が既にもっている考えや経験をもとに検討し、より妥当な考えをつくりだすといった考え方をを用いることが大切である。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年〕 2 内容 A 物質・エネルギー (4) 磁石の性質」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること。

イ 磁石に近づけると磁石になる物があること。

ウ 磁石の回りに磁界ができ、磁界は磁力線で表すことができること。

エ 磁石の異極は引き合い、同極は退け合うこと。

問 3 第 6 学年で「てこの規則性」を学習する。「力点が支点と作用点の間にあるてこ」として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア はさみ(洋ばさみ)
- イ せんぬき
- ウ バール(くぎぬき)
- エ ピンセット

問 4 第 4 学年「金属、水、空気と温度」の学習において、金属は熱せられた部分から順に温まることを示す実験を行った。熱や温度に関する記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 金属が熱を伝えるメカニズムには、自由電子が関与している。
- イ 熱と温度はほぼ同じ意味であり、理科の授業において、金属は熱せられた部分から順に温まることについて、「温度が伝わる」と表現しても間違いではない。
- ウ 熱は自発的に(外界に何らの変化を起こさずに)、低温の物体から高温の物体へと移動することがある。
- エ 台所のステンレス製のシンクに熱湯を捨てたら“ボン”と音がすることがあるのは、金属が温まりやすく瞬時に収縮するからである。

問 5 第 6 学年「水溶液の性質」で学習する酸性やアルカリ性に関する記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 水溶液の酸性やアルカリ性は、水素イオンのモル濃度と強く関連している。
- イ 酸性やアルカリ性の強さを示す尺度は pH であり、pH の値が大きいほど酸性が強い。
- ウ 水分子は  $H_2O$  であり、純粋な液体の水であるなら、 $H^+$  と  $OH^-$  に解離することはない。
- エ 金属は酸性又はアルカリ性のどちらかの水溶液に溶け得るのであって、酸性の水溶液にもアルカリ性の水溶液にも溶けるような金属は存在しない。

問 6 理科の実験では液体を扱うことが多く、実験中の危険を未然に防止するためには、その分量に注意を払うことも必要である。試験管に入れる液体の量として適切とされている量及び最初にアルコールランプに入れるアルコールの量として適切とされている量を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	試験管	アルコールランプ
ア	全体の長さの約 $\frac{1}{2}$ 程度	容器の約 $\frac{2}{5}$ 程度
イ	全体の長さの約 $\frac{1}{2}$ 程度	容器の約 $\frac{4}{5}$ 程度
ウ	全体の長さの約 $\frac{1}{4}$ 程度	容器の約 $\frac{2}{5}$ 程度
エ	全体の長さの約 $\frac{1}{4}$ 程度	容器の約 $\frac{4}{5}$ 程度

問 7 第 5 学年「植物の発芽、成長、結実」において『小学校学習指導要領解説』では「花粉の観察においては、顕微鏡を適切に操作して、花粉の特徴を捉えることが考えられる。」と示されている。顕微鏡の操作について適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 顕微鏡にレンズを取り付けるときは、必ず接眼レンズを取り付けてから対物レンズを取り付ける。
- イ 顕微鏡の視野では上下はそのまま見えているが、左右は逆に見えているので、見たい像を視野の中心に動かしたい場合、左右は動かしたいと思う逆の方向に動かすとよい。
- ウ 顕微鏡だけを持ち運ぶ場合、片手でアームを握り、他方の手で台(鏡脚)の下をしっかりと支えて運ぶ。
- エ 対物レンズをプレパラートに近付ける際には、対物レンズを低倍率のものにして、横から見ながらプレパラートに近付ける。

問 8 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 6 学年〕 2 内容 B 生命・地球 (3) 生物と環境」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 生態系においては、生産者、消費者及び分解者の関連を扱うこと。
- イ 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること。
- ウ 人は、環境と関わり、工夫して生活していること。
- エ 生物の間には、食う食われるという関係があること。

問 9 関東地方にある小学校で、第 3 学年「太陽と地面の様子」の学習において、影の位置の変化と太陽の位置の変化との関係を捉えさせるために、厚紙に棒を立てた日時計を作成した。6 月の晴れた日に、その日時計を用いて、日時計の棒の影の先端の位置を一定時間ごとに厚紙上に記録する活動を行った。その結果、影が一番短くなる時刻、つまり太陽の南中時刻は、12 時頃ではなく 11 時 40 分頃という結果になった。南中時刻及びこの実験に関する記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 南中時刻は、日本中どこでも年間を通して常に正午であるので、この実験の結果は正しいものとは言えない。失敗した原因を探り、実験に関する注意点を示したプリントを準備して児童への説明を丁寧に行うなど、授業改善を心掛けることが必要である。

イ 南中時刻は、春分から秋分の間は日本中どこでも 12 時よりも早くなるので、妥当な結果である。

ウ 日本の標準時は東経 135 度の経線である日本標準時子午線を基準に決められている。観測地点がその線よりも東にあれば南中時刻は年間を通して常に正午より早く、西にあれば年間を通して常に正午より遅くなる。関東地方は日本標準時子午線よりも東に位置するので妥当な結果である。

エ 南中時刻は、公転速度の変化や自転軸の傾きに影響されて複雑に変化しており、この実験結果は、その影響を受けている。

問10 第 5 学年「土地のつくりと変化」の学習において、火山灰の中に含まれている鉱物を双眼実体顕微鏡で観察したところ、小さな粒が多数見られた。火山灰に関する内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 火山灰を構成している小さな鉱物は、角がとれて丸くなったものが多い。

イ 火山灰に含まれる黒っぽい粒は、石英や長石などであることが考えられる。

ウ 火山から噴出される火山灰は灰色であるが、採取に行った学校の近くの火山灰の層は赤茶色を帯びていた。これは、火山灰に含まれていた石英の酸化が原因であることが多い。

エ 火山灰には、鉱物結晶の他にも、火山ガラスや古い岩石の破片などが含まれている場合がある。火山ガラスは、マグマが結晶に成長する暇もなく急速に冷やされることによって固まってきたものである。

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

生 活

問 1 1年生の生活科において、「きれいな花をさかそう」という単元の授業をすることになった。児童がアサガオを栽培する際の配慮について、適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア アサガオは、日中の気温が 20℃ 以上で発芽するため、気温観察も行う。

イ アサガオは、日光を好むため、午前中いっぱい日の当たる場所で管理する。

ウ つるは自然と支柱に巻き付くが、うまく巻き付かないときは、つるの成長方向に沿うように巻き付ける。

エ 水やりは、芽が出るまでたっぷり行い、花が咲き始めたらできる限り少なくする。

問 2 1年生の生活科において「えがお いっぱい」という家庭生活に関わる活動を行う単元の授業をすることになった。授業を展開する上で配慮すべき事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 単元をはじめる前に、学習のねらいや学習内容について、保護者会や学年便りなどを利用するなど、保護者の理解を得て行うようにする。

イ 家庭での実践活動が難しい児童に対しては、深入りせず距離をおいて様子を見る。

ウ 家族の仕事や役割ばかりに目を向けるのではなく、規則正しく健康に気を付けて生活できているかなど、自分自身のことについても考えられるようにする。

エ 実践した活動内容について、よかったことや気付いたことを友達と紹介し合う際は、これからも続けたいという意欲につながるように、児童が家庭生活の役に立っていることを実感できるよう発表を進めるようにする。

問 3 1年生の生活科において「ふゆとあそぼう」という単元の授業をすることになった。授業を展開する際の配慮として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 厳寒期でも氷が張らない地域であるが、児童には多様な体験をさせたいと考え、冷凍庫で氷を作って遊ぶ。
- イ こま回しやあやとりなどは、児童には難しい遊びであるが、自分の力でできるようにさせたいと考え、あえて祖父母等を招へいしないことにする。
- ウ ビニールなど身近な材料で<sup>たこ</sup>凧を作って<sup>たこ</sup>凧あげをすることにした。凧の見本を複数提示して自由に作らせ、その後、よくあがるように試行錯誤させる。
- エ 春や秋に出かけた公園と同じ公園に出かけても、興味・関心が高まらな<sup>たこ</sup>いと考え、冬は別の公園に出かけることにする。

問 4 2年生の生活科において、「生きものみつけた」という単元の授業をすることになった。児童が飼育する生き物をダンゴムシとした場合の利点について、適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 適切な方法で飼育すれば、児童が生き物と長期にわたって関わり続けることができる。
- イ 土・隠れ場所・えさ・温度などの飼育環境を工夫しやすく、児童の生き物に対する思いが育まれやすい。
- ウ 生き物の動きや反応が分かりやすく、児童が生き物と関わり合っていることを実感することが容易である。
- エ 死んだ時には、児童が悲しまないように、新しいダンゴムシを補充することが容易である。

問 5 2年生の生活科において「すごいな わたしの町」という単元の授業をすることになった。本単元を行う上で、公共物や公共施設を利用する活動を指導するための留意事項として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 探検したい町の公共物・公共施設として、駅やバスターミナルを挙げる児童がいた場合には、公園や公民館等にするよう指導する。

イ 公共物や公共施設のよいところを調べるために、そこで働いている人だけではなくそこを利用している人にもインタビューするよう指導する。

ウ 公共施設として図書館を取り上げたいが、学区の中には図書館がないため、借り上げバスを利用して行く計画を立てる。

エ 気持ちよく利用するためのマナーやルールは重要なので、指導の効果を上げるために、それだけを取り上げて指導する。

問 6 2年生の生活科において「これまで そして これからの わたし」という「小学校学習指導要領」の「自分自身の生活や成長に関する内容」を取り扱う単元の授業をすることになった。授業を展開する上で配慮すべき事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 低学年の児童にとって、自分の成長を手掛かりなしで振り返ることは難しいので、入学当初にかいた自分の名前や絵、行事の写真などの多様な具体物を手掛かりに、「できるようになったこと」を見付けさせ、自分の成長を実感させるようにする。

イ 「成長」については、技能的・身体的な成長だけでなく、優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心などの内面的な成長にも目を向けさせるとよい。

ウ 一人一人成長したと感じられることは違うため、友達同士で成長したことを比較し、これまでの学習活動の場面を思い出させ、もうすぐ3年生になる今、どのぐらい成長したかを考えさせるようにする。

エ 自分の成長への気付きは、この内容だけに限らず、生活科の全ての内容の中で捉えていくことができる。各内容との関連を意識し、年間を見通した計画的な学習活動を構想することが必要である。

問 7 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 生活科の目標 第 1 節 教科目標 3 資質・能力の三つの柱としての目標の趣旨 (2) 「思考力、判断力、表現力等の基礎」に関する目標」において示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉えるとは、身近な人々、社会及び自然などの対象について、客観的に相互の関連性を分析しながら、一般的な対象の相関関係を見いだすことである。

イ 思いや願いを実現する過程において、身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考えたり表現したりすることができるようにする。

ウ 生活科では、思いや願いの実現に向けて、「何をするか」「どのようにするか」と考え、それを実際に行い、次の活動へと向かっていく。その過程には、様々な思考や判断、表現が存在している。

エ 自分自身や自分の生活について考え、表現するとは、身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉えることによって、自分自身や自分の生活について考え、それを何らかの方法で表現することである。

問 8 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 生活科の内容 第 1 節 内容構成の考え方」において示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 生活科は、具体的な活動や体験を通して学ぶとともに、自分と対象との関わりを重視するという生活科の特質を基に、9 項目の内容で構成している。

イ 生活科は、具体的な活動や体験を通して学ぶことを基本としているところに特色がある。具体的な活動や体験は、単なる手段や方法ではなく、目標であり、内容でもある。

ウ 生活科の各内容の記述に組み込まれている要素の第 1 は、児童が直接関わる学習対象や実際に行われる体験活動等である。

エ 生活科において、複数の内容を組み合わせて単元を構成する際には、内容の漏れや落ちが生じないように四つの要素について十分考慮する必要がある。

問 9 『小学校学習指導要領解説』の「第 5 章 指導計画の作成と学習指導 第 3 節 単元計画の作成」において、生活科の単元の特徴を四つ取り上げている。記述内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 児童が、身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現していく必然性のある学習活動で構成する。

イ それぞれの学校や地域の人々、社会及び自然に関する特性を把握し、そのよさや可能性を生かす。

ウ 学習活動を行う中で、高まる児童の思いや願いを中心に授業を展開する。

エ 具体的な活動や体験を行い、気づきを交流したり活動を振り返ったりする中に、児童一人一人の思いや願いに沿った多様な学習活動が位置付く。

問10 『小学校学習指導要領解説』における生活科の改訂に関する説明の内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 生活科では、具体的な活動や体験を通して育成する資質・能力(特に「思考力、判断力、表現力等」)が具体的にになるような見直しが図られた。

イ 動物の飼育や植物の栽培などの活動は2学年間にわたって取り扱い、引き続き重視することになった。

ウ 授業では、活動や体験を通して低学年らしい思考や認識を育成できるような学習活動を重視することが求められた。

エ 社会科や理科、総合的な学習の時間をはじめとする中学年の各教科等への接続を重視して、中学年の前倒しも意識した授業を行うことが示された。

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

音 楽

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」の「1 目標」における記述内容に照らして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第 1 学年及び第 2 学年においては、「楽しく」音楽に関わる態度を養うものとしており、第 3 学年及び第 4 学年においては、「進んで」音楽に関わる態度を養うものとしている。

イ 全学年を通じて「協働して音楽活動をする楽しさ」を感じたり味わったりする態度を養うものとしている。

ウ 第 1 学年及び第 2 学年においては「歌唱」の技能を、第 3 学年及び第 4 学年においては「歌唱」「器楽」の技能を、第 5 学年及び第 6 学年においては「歌唱」「器楽」「音楽づくり」の技能を身に付けるものとしている。

エ 全学年を通じて「音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことができるようにする」としている。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」の「2 内容 A 表現」を踏まえ、それぞれの学年において身に付けるべき技能として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第 1 学年及び第 2 学年では、リズム譜などを見て打楽器を演奏する技能

イ 第 1 学年及び第 2 学年では、ハ長調の楽譜を見て歌う技能

ウ 第 3 学年及び第 4 学年では、ハ長調の楽譜を見て旋律楽器を演奏する技能

エ 第 5 学年及び第 6 学年では、イ短調の楽譜を見て歌う技能

問 3 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」の「3 内容の取扱い」に示されている歌唱共通教材について、2 曲の拍子が異なる組合せを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア うさぎ — ひらいたひらいた

イ うみ — おぼろ月夜

ウ とんび — ふじ山

エ 春がきた — 日のまる

問 4 次の楽譜はどの楽曲の旋律か。下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- ア 君が代
- イ 茶つみ
- ウ まきばの朝
- エ われは海の子

問 5 ソプラノリコーダーに関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ソプラノリコーダーで演奏できる最低音は、記譜上の一点ハ音である。
- イ ソプラノリコーダーの記譜上の二点ハ音を出す時、左手の親指は穴を閉じている。
- ウ ソプラノリコーダーで記譜上の二点ホ音を出す時は、一点ホ音の指づかいでサミングをする。
- エ ソプラノリコーダーの指穴は全部で7つである。

問 6 金管楽器でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ユーフォニアム
- イ ホルン
- ウ サクソフォーン
- エ トランペット

問 7 速度を指示していない楽語を，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア adagio
- イ allargando
- ウ presto
- エ tranquillo

問 8 二短調の同主調の属調を，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ハ長調
- イ ト長調
- ウ イ長調
- エ ロ短調

問 9  $D_7$  のコードネームと一致するものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



問10 日本の伝統的な楽器の特徴に関する説明として誤っているものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい

- ア 尺八の指穴は，全部で六つである。
- イ 小鼓は，大鼓より低い音が鳴る。
- ウ 箏を弾く時には，右手の三つの指に爪を付ける。
- エ 琵琶は三味線より歴史の古い楽器である。

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

図画工作

問 1 次の表は、『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 各学年の目標及び内容 第 3 節 第 5 学年及び第 6 学年の目標と内容 2 内容 「A 表現」 第 5 学年及び第 6 学年 「A 表現」(1)」において、発想や構想に関する「小学校学習指導要領」の指導事項をまとめたものである。空欄の ① ~ ⑤ に入る適切な語を〔語群〕から選択し、その組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

「A表現」(1)ア	「A表現」(1)イ
造形遊びをする活動を通して、	絵や立体、工作に表す活動を通して、
材料や場所、 ① などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、	感じたこと、想像したこと、見たこと、 ③ から、表したいことを見付けることや、
構成したり ② を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。	形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、 ④ などと考えながら、どのように ⑤ を表すかについて考えること。

- 〔語群〕 A 経験したこと      B 考えたこと      C 伝えたいこと  
 D 主題      E 身近な自然物      F 空間  
 G 用具の使い方      H 周囲の様子      I 用途  
 J 目的

	①	②	③	④	⑤
ア	F	G	C	J	I
イ	E	H	A	I	D
ウ	E	G	B	D	J
エ	F	H	C	I	D

問 2 次の文章は『小学校学習指導要領解説』の〔共通事項〕に関する記述の一部である。空欄の

① ~ ⑤ に入る適切な語を〔語群〕から選択し、その組合せとして正しいものを、  
下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の活動の中で、共通に必要な①である。

児童は、材料に触れて形の感じや質感を捉えたり、材料を見つめながら色の変化に気付いたりするなど、直観的に対象の特徴を捉え、理解している。同時に対象や自分の行為などに対して自分なりの②をもっている。(中略)このような、③などの造形的な特徴を理解したり、②をもったりする①は、表現及び鑑賞の活動の基になるとともに、③などを活用したコミュニケーションの基盤となる。(中略)

〔共通事項〕の内容は、自分の感覚や行為を通して、③などの造形的な特徴を理解する「④」の育成に関するものと、様々な対象や事象について自分なりの②をもつ「⑤」の育成に関するものである。

- 〔語群〕 A 知識・技能      B 知識      C 思考力, 判断力, 表現力等  
 D 学びに向かう力, 人間性      E 資質・能力      F 資質・素養  
 G イメージ      H 思いや願い      I 形や色      J 線や色

	①	②	③	④	⑤
ア	F	G	J	A	D
イ	E	G	I	B	C
ウ	E	H	I	A	C
エ	F	H	J	B	D

問 3 次の文は「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」において、地域の美術館などの利用や連携について示されているものである。この内容の趣旨として誤っているものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(8) 各学年の「B鑑賞」の指導に当たっては、児童や学校の実態に応じて、地域の美術館などを利用したり、連携を図ったりすること。

- ア 「地域の美術館など」とは、親しみのある美術作品や生活の中の造形などを展示している地域の施設や場所のことを示す。
- イ 学芸員などの専門的な経験や知識を生かして授業をすることができる。
- ウ 美術館での鑑賞の授業は、本物の美術作品に囲まれることにより、受動的な鑑賞活動が可能になる。
- エ 施設が提供する教材や教育プログラムを活用することが可能になる。

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」に記載された内容の趣旨として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 工作に表すこと、絵に表すこと、立体に表すこと、三つそれぞれの内容に配当する授業時数が、およそ等しくなるように指導計画を立てる。
- イ 幼稚園等において幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を考慮した指導が行われていることを踏まえ、低学年では例えば、思考力の芽生え、豊かな感性と表現などとの関連を考慮することが考えられる。
- ウ 版に表す経験や粘土を焼成して表す経験は、材料や用具の準備や製作の工程などにおいて、児童だけで行うことが困難な部分があるので、児童が無理のない範囲で経験できるようにするとともに、児童が受け身で活動を終わらせることがないように配慮する。
- エ コンピュータは、その特長を生かして、何度でもやり直したり、色を変えたりするなど、様々に試しながら表現の可能性を広げていくことができる。また、鑑賞活動においては、作品や作品に関する情報をインターネットから検索するなど、自分の見方や感じ方を深めていく手掛かりに活用することもできる。

問 5 中学年の図画工作科において段ボールや厚紙に切り込みを入れて組み合わせていく「造形遊び」の授業を行う。その際に配慮する事項として、次の①～④の中に誤っているものが幾つあるかを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 切り込みの入れ方に工夫しながら、のりやテープを使用しなくても組み合わせることができることを意識させる。
- ② 段ボールカッターやはさみなどの使い方について事前に十分指導し、安全に配慮する。
- ③ 段ボールや厚紙を扱いやすいように教室の机の上で作業を行うように準備する。
- ④ 思い付いたことをどんどん組み合わせて試しながら、壊れても何回も繰り返し試行錯誤するように支援する。

ア 三つ      イ 二つ      ウ 一つ      エ なし

問 6 低学年の図画工作科において「絵に表す」活動の授業を行う。その際に指導する内容として次の①～④の中で誤っているものが幾つあるかを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① この時期の児童はそっくりに描きたいという欲求が高まるため、みんなで同じものを描いたり、よく見て描く練習をしたりすることも大切である。
- ② クレヨンや水彩絵の具を使って描く機会が多いため、筆やパレット、水入れなどの正しい使い方について教科書を用いて指導することが重要である。
- ③ 筆だけでなく、指や手のひらを使って絵の具の触感を楽しみながら自由に描く活動を取り入れる。
- ④ 絵の具だけの表現にこだわらず、クレヨン、パス、色鉛筆を使ったり、色紙や包装紙など様々な色の紙を貼り付けたりする活動を取り入れるとよい。

ア 三つ      イ 二つ      ウ 一つ      エ なし

問 7 図画工作科の授業で使用する「粘土」の種類とその特長・用途の説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	種類	特長と用途
ア	土粘土	土を主材料にした粘土で、比較的安価でのびがよく、繰り返し使える。焼成が可能であり、造形遊びや共同製作で大きなものをつくったり、大量に使用したりする場合にも適している。
イ	油粘土	土に油を混ぜて練った粘土で、手の温度などで軟らかくなる。幼児期から使用されており、容易に立体作品をつくることができる。汚れやすく、油が分離するなど管理が難しいため、指導者が保管することが望ましい。
ウ	紙粘土	パルプにのり等を混ぜてつくった粘土で、乾燥すると固まり、絵の具などで着色できる。小さな物をつくったり、瓶などに付けたりすることに向いている。絵の具を練り込んで色粘土をつくることもできる。
エ	小麦粉粘土	小麦粉を材料としているので、誤って口に入れても安全である。安全面から幼児が扱う場合などに適している。

問 8 高学年の図画工作科において「立体に表す」活動として「動きのある友達をつくろう」の授業を行う。次の文章の空欄 ① ~ ③ に入る適切な語を[語群]から選択し、その組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

① は動きのある立体を表現する際の支えになるので、相応の ② が必要である。複雑な形態をつくる場合には、針金や木材などを組み合わせるのが一般的である。その場合、対象の形態に応じて木材や紙、発泡スチロールなどをあらかじめくり付けて、フォームをある程度整えておくと量の表現がしやすい。そのためには、① の段階で形態の ③ や動勢をしっかり把握しておくことが大切である。

[語群] A 大きさ      B 重さ      C 特徴  
 D 芯材      E 強度      F 粘土

	①	②	③
ア	F	E	A
イ	D	A	B
ウ	F	B	E
エ	D	E	C

問 9 高学年の図画工作科において「工作に表す」活動として「針金タワーをつくろう」の授業を行う。材料として扱う針金に関する記述として、適切でないものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 針金の太さは番手や線径で表示されている。児童には番手の数が大きくなるほど細くなっていくことを指導し、自分の表現にあった針金を選択するように指導する。

イ 針金の切断や形成にはペンチを使用する。切るときにはペンチの根元部分の刃を使用し、曲げたり伸ばしたりするにはニッパの先を使用すると加工しやすいことを伝え、安全に製作することを指導する。

ウ 切った針金の先は尖っているため、丸めたりテープを巻いたりして、製作中の安全に注意する。

エ 力任せに針金を切断すると、切り離れた針金が思いもよらぬ方向に飛んでいくことがある。児童には、周りに注意し、ゆっくり静かに切断するように指導する。

問10 図画工作科の授業において評価を行う際に配慮すべきこととして、次の①～④の中で誤っているものが幾つあるかを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 評価規準を設定する際には、児童の活動の姿や様子を思い浮かべながら作成することが望ましい。
- ② 授業の目標を達成するためには、完成作品を踏まえた評価のみが重要となるため、作品の完成を目指した丁寧な指導を心掛ける必要がある。
- ③ ABC評価を行い、学級集団の平均的な作品をB(標準)としてそれぞれの割合を決めることにより評価の信頼性を高めるようにする。
- ④ 児童の自己評価としての学習カードや、デジタルカメラによる記録など、複数の評価方法を取り入れることで信頼性を高めることができる。

ア 四つ      イ 三つ      ウ 二つ      エ 一つ

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

家 庭

問 1 次の各文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 2 節 家庭科の内容構成」で述べられている内容の示し方の特色である。文中の ① ～ ④ に入る語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ・「A 家族・家庭生活」においては、① の進展や家庭の機能が十分に果たされていないといった状況に対応して、② 又は低学年の児童，高齢者など異なる世代の人々との関わりについても扱うこととしている。
- ・「C 消費生活・環境」においては、③ の構築に対応して，自立した消費者を育成するために，中学校との系統性に配慮し，買物の仕組みや消費者の④ について扱うこととしている。

	①	②	③	④
ア	核家族社会	幼児	情報化社会	役割
イ	少子高齢社会	乳幼児	持続可能な社会	権利
ウ	少子高齢社会	幼児	持続可能な社会	役割
エ	核家族社会	乳幼児	情報化社会	権利

問 2 小学校家庭科で、「家族や地域の人々との関わり」に関する授業をすることになった。本授業を行う上で適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 家庭生活が地域の人々との関わりで成り立っていることを理解できるようにする。
- イ 家族との触れ合いや団らんについて問題を見だし課題を設定する。
- ウ 総合的な学習の時間や，特別活動など，他教科等における地域との交流活動の学習と関連付けることもできる。
- エ 自分の生活の快適さが，地域の人々によって損なわれることに気付かせるようにする。

問 3 小学校家庭科で、「自分の成長と家族・家庭生活」に関する授業をすることになった。本授業を行う上で適切でないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 学習に取り組む意欲を高めるために，自分の成長を自覚したり，喜びを感じたりできる内容を取り入れるとよい。
- イ 自分の成長を振り返るために，母子手帳や小さい頃の写真を持参させ，見せ合う内容を取り入れるとよい。
- ウ 衣食住，消費や環境に係る生活を営む場である家庭生活が，自分の成長を支えてくれたことに気付けるようにするとよい。
- エ 2 学年間の学習の見通しをもたせるガイダンスとして，第 5 学年の最初に位置付けるとよい。

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 B 衣食住の生活 食生活」を踏まえて述べた内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 献立を構成する要素として、主食、主菜、副菜があることが分かり、1 食分の献立作成の方法について理解できるようにする。

イ 日常の食事に使われる食品に含まれる栄養素を「体内での働き(「主にエネルギーのもとになる」, 「主に体をつくるもとになる」, 「主に体の調子を整えるもとになる」)」に応じて分類できるようにする。

ウ 家庭科では献立の作成をする際に、できるだけ少ない食品数で料理や食品を上手に組み合わせさせてとることに留意する。

エ 食品には複数の栄養素が含まれていることから、必ずしもいずれかのグループに厳密に分類しなくてもよい場合もあることに配慮する。

問 5 「調理の基礎」に関する授業の中で、「環境に配慮した調理の工夫」を指導することになった。次の①～⑤の文の正誤(○×)の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 調理実習で使用する材料は、品質、分量、値段、環境への影響などの観点から選ぶ。
- ② 調理実習の際は、不足が出ないように 1～2 人分の量を加味した材料を準備する。
- ③ フライパンや盛り付けた皿に残った油汚れは、不用な紙や布で拭き取ってから洗うとよい。
- ④ えぐみ成分や農薬等を除去するために、にんじんの皮はやや厚めにむく。
- ⑤ 加工食品は、食品ロスを減らすために賞味期限を確認した上で、早めに使い切るようにする。

	①	②	③	④	⑤
ア	○	×	○	○	○
イ	×	○	○	×	×
ウ	○	○	×	○	○
エ	○	×	○	×	○

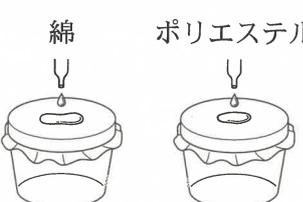
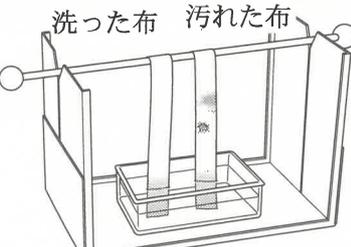
問 6 小学校家庭科の「調理の基礎」に関する学習で、野菜炒めの調理実習をすることになった。このことに関する記述として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 野菜は弱い火力で炒めると火が通るまでの調理時間が長くなり、野菜から水分が出てしまうので、強火にして短時間で調理する等の工夫が必要である。
- イ フライパンを強火で温めてから油を入れ、火の通りにくい材料順に炒めていく。
- ウ 緑黄色野菜は脂溶性ビタミンを豊富に含んでいるため、油炒めをすると体内の吸収率もよくなる。
- エ 材料に応じて形や大きさを整えて切ることにより、熱の通りをよくしたり味がしみこみやすくなったりする。

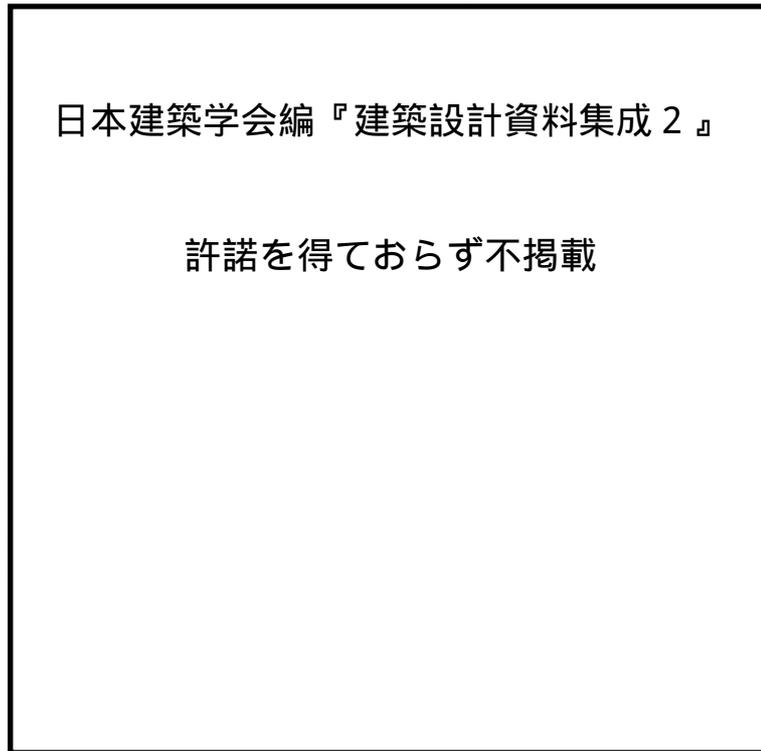
問 7 小学校家庭科で「生活を豊かにするための布を用いた製作」として、手さげ袋を製作することになった。手さげ袋の作り方として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 袋に入れたい物の2倍の大きさを布を裁つ。
- イ 布を「わ」の部分で中表に二つ折りにして、両脇を縫う。
- ウ 出し入れ口は三つ折りにして、縫い始めと縫い終わりを重ねて縫う。
- エ ポケットを付ける場合は、布表にポケットを縫い付けてから脇を縫う。

問 8 小学校家庭科の授業において「衣服の着用と手入れ」について理解するための実験を行うことになった。実験方法と予想される結果の組合せとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	実験方法	予想される結果
ア	<p>筒を2つ用意し、1つ目の筒の先に目が粗い布(ガーゼ)を、2つ目の筒の先に目が細かい布(綿ブロード)をかぶせる。下の右端の図のように筒からテープに向かって息を吹きかけて、テープの揺れ方を比べる。</p> <p>目が粗い      目が細かい</p> 	<p>目が粗い布をかぶせた筒に比べて、目が細かい布をかぶせた筒では息が通りやすくテープが大きく揺れる。</p>
イ	<p>片手は薄手の布手袋をはめてその上にビニル袋をかぶせ、もう片方の手にはビニル袋だけをかぶせる。両手とも手首で閉じて5分程度置き、比べる。</p> <p>素手      ビニル袋をかぶせる      布手袋</p> 	<p>ビニル袋だけをかぶせた方よりも、布手袋をはめた方のビニル袋がくもる。</p>
ウ	<p>ピーカーを2つ用意し、それぞれのピーカーの上に密度や厚みが同じ平織りの実験布(綿布とポリエステル布)を置く。スポイトを使ってそれぞれの布の上に水1滴を落とし、布が水を吸う時間を比べる。</p> <p>綿      ポリエステル</p> 	<p>綿布に比べてポリエステル布は早く水を吸う。</p>
エ	<p>同じ素材の乾いた実験布(洗った布と汚れた布)を用意し、スタンド等にぶら下げる。実験布を下に置いた水につけて5分程度置き、水の染み込み具合を比べる。</p> <p>洗った布      汚れた布</p> 	<p>洗った布は汚れた布よりも水をたくさん吸う。</p>

問 9 次の図は、小学校家庭科の「快適な住まい方」の学習に関連した、北緯 35 度における水平面及び各方位の面が 1 日に受ける直達日射量を示す図である。図中の①～④の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



	①	②	③	④
ア	北面	東西面	南面	水平面
イ	南面	北面	水平面	東西面
ウ	水平面	南面	東西面	北面
エ	北西面	水平面	北面	南面

問10 「環境に配慮した生活」に関連する記述として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア グリーンマークは、様々な製品の中で「生産」から「廃棄」に渡るライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品に付けられている。
- イ 同程度の明るさを得ることのできる電球型 LED ランプに比べ、白熱電球の方が消費電力は少ない。
- ウ 夏季には窓の内側よりも外側で日射を遮蔽すると、より日射遮蔽効果が高い。
- エ 洗濯の際に洗剤を使用量の目安よりも多く使用すると、汚れが落ちやすく節水になる。

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

体 育

問 1 次の文章中の〔 A 〕～〔 E 〕に当てはまる正しい語句の組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

あなたは2年生の学級担任になりました。水遊びの授業を『小学校学習指導要領解説』に則って考えることにしました。水遊びの内容を〔 A 〕と〔 B 〕で構成することにし、それぞれの児童の〔 C 〕にふさわしい課題に挑み、活動を通して〔 D 〕について知り、水に慣れ親しむことで、〔 E 〕楽しさに触れることができる運動遊びと捉えて指導しました。

[解答群]

- |   |                  |                |           |
|---|------------------|----------------|-----------|
| ア | 〔A〕 速く泳ぐ遊び       | 〔B〕 浮く・もぐる運動   | 〔C〕 泳力    |
|   | 〔D〕 泳ぐという運動の特性   | 〔E〕 水泳技能を向上する  |           |
| イ | 〔A〕 水をかけあう遊び     | 〔B〕 息継ぎの遊び     | 〔C〕 水への慣れ |
|   | 〔D〕 水の楽しさ        | 〔E〕 水と遊ぶ       |           |
| ウ | 〔A〕 浮く遊び         | 〔B〕 もぐる遊び      | 〔C〕 体力    |
|   | 〔D〕 水中での体の動かし方   | 〔E〕 水中を自由に動ける  |           |
| エ | 〔A〕 水の中を移動する運動遊び | 〔B〕 もぐる・浮く運動遊び | 〔C〕 能力    |
|   | 〔D〕 水の中での運動の特性   | 〔E〕 課題を達成する    |           |

問 2 次の文章中の〔 A 〕～〔 D 〕に当てはまる正しい語句の組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ボール運動系は、競い合う楽しさに触れたり、〔 A 〕競争する楽しさや喜びを味わったりすることができる運動である。

低学年はボールゲーム及び〔 B 〕で、中学年と高学年はゴール型、ネット型及び〔 C 〕の三つの型でそれぞれゲームと〔 D 〕を行う。

[解答群]

- |   |               |               |
|---|---------------|---------------|
| ア | 〔A〕 友達と力を合わせて | 〔B〕 鬼遊び       |
|   | 〔C〕 ベースボール型   | 〔D〕 ボール運動     |
| イ | 〔A〕 友達と協力して   | 〔B〕 鬼ごっこ      |
|   | 〔C〕 ドッジボール型   | 〔D〕 ボール競技     |
| ウ | 〔A〕 作戦を立てて    | 〔B〕 ソフトバレーボール |
|   | 〔C〕 野球型       | 〔D〕 球技        |
| エ | 〔A〕 ボールを操作して  | 〔B〕 ドッジボール    |
|   | 〔C〕 入り乱れ型     | 〔D〕 ボール遊び     |

問 3 次の文章中の〔 A 〕～〔 D 〕に当てはまる正しい語句の組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

高学年の表現運動は、「表現」及び〔 A 〕で内容が構成されている。「表現」における群の動きの工夫としては、例えば、「集まる — 〔 B 〕」などの変化を付けたりして〔 C 〕にして踊ったり、「はじめ — なか — おわり」の構成を工夫した〔 D 〕にしたりして表現する。

[解答群]

- ア 〔A〕 「フォークダンス」 〔B〕 素早く止まる  
〔C〕 ひとまとまりの動き 〔D〕 ひと流れの動き
- イ 〔A〕 「リズムダンス」 〔B〕 離れる  
〔C〕 ひと流れの動き 〔D〕 ひとまとまりの動き
- ウ 〔A〕 「フォークダンス」 〔B〕 離れる  
〔C〕 ひと流れの動き 〔D〕 ひとまとまりの動き
- エ 〔A〕 「リズムダンス」 〔B〕 素早く止まる  
〔C〕 ひとまとまりの動き 〔D〕 ひと流れの動き

問 4 「小学校学習指導要領」の「第 1 目標」において、「(1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。」と示されている。「身近な生活における健康・安全について理解する」の解説として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 体の発育・発達、けがの防止及び病気の予防についての基礎的・基本的な内容を実践的に理解することである。
- イ 第 5 学年及び第 6 学年の保健領域にも関連したねらいを示している。
- ウ これらの理解は、知識を記憶としてとどめることのみを目指している。
- エ 健康に関する課題解決に役立つ保健領域の主要な概念を習得することを目指したものである。

問 5 小学校での器械運動における，基本的な技から発展技への指導順序として正しいものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ①前方倒立回転 → ②背支持倒立 → ③倒立ブリッジ
- イ ①台上前転 → ②首はね跳び → ③頭はね跳び
- ウ ①片足踏み越し下り → ②転向前下り → ③横とび越し下り
- エ ①後転 → ②伸膝後転 → ③開脚後転

問 6 『小学校学習指導要領解説』における第3学年及び第4学年の「体づくり運動」領域の体ほぐしの運動の行い方の例として示されていないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

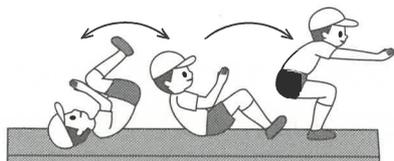
- ア リズムに乗って，心が弾むような動作で運動を行うこと。
- イ 自己の能力に適した運動を行うこと。
- ウ 動作や人数などの条件を変えて，歩いたり走ったりする運動を行うこと。
- エ 伝承遊びや集団による運動を行うこと。

問 7 第2学年のマットを使った運動遊びにおいて、主体的に学習に取り組む態度に関わって学習評価をする際に、「単元の評価規準」と「児童の具体的な姿の例及び評価方法の例」の組合せとして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	単元の評価規準	児童の具体的な姿の例及び評価方法の例
ア	① 動物の真似をして腕で支えながら移動したり、転がったりするなどの運動遊びに進んで取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アザラシ歩き、クマ歩き、ウサギ跳び、カエル跳びなど、動物などの真似をした遊び方を試したり、前転がりや後ろ転がりなどの転がり方を試したりしている。(観察・カード)</li> <li>・いろいろな運動遊びに繰り返し取り組んでいる。(観察・カード)</li> </ul>
イ	② 順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動遊びをしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の順番を守り、遊んでいる。(観察)</li> <li>・遊び方の約束を守り、回ったり跳んだりしている。(カード)</li> <li>・グループの友達と仲よくマット遊びをしている。(観察)</li> </ul>
ウ	③ 場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力してマットや用具の準備や片付けをしたり、声をかけ合って平均台を運んだりしている。(観察)</li> </ul>
エ	④ 場の安全に気を付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の動きを見て、楽しいところや工夫しているところなどを友達や教師に伝えている。(観察)</li> <li>・自分の動きやグループでの遊び方で工夫したことを言ったり書いたりしている。(観察・カード)</li> </ul>

問 8 マット運動において、回転技を授業の中で取り扱う際に、基本的な回転技として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア



ゆりかごからしゃがむ

イ



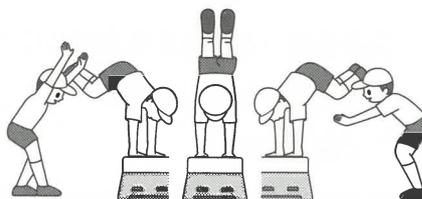
坂道マットで勢いをつけて

ウ



坂道マットで勢いをつけて、連続回転

エ



着手し跳び箱を越える  
手を上からしっかりと着いて、あごを出す感じで

問 9 新体力テストの運動特性とテスト項目の組合せについて、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 力強さ : 立ち幅とび
- イ タイミングのよさ : ボール投げ
- ウ 動きを持続する能力(ねばり強さ) : 反復横とび
- エ 体の柔らかさ : 長座体前屈

問10 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 指導計画の作成と内容の取扱い」における、保健に関する内容の取扱いについて配慮すべき事項として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 食育の観点も踏まえつつ望ましい生活習慣の形成に関する学習の効果を高めるため、保健領域の内容と運動領域の内容及び学校給食に関する指導との密接な関連を図った指導に配慮する。
- イ 健康に関する課題を解決する学習活動を積極的に行うことにより、運動・食事・休養のうち、どれかを重点的に育成するように配慮する。
- ウ 全身を使った運動を集中的に行うことが、病気の予防の方法としても重要であることを理解し、運動領域において学習したことを基に運動と健康との関連について具体的な考えをもてるように配慮する。
- エ 指導に当たっては、日常生活の体験などを題材にした話合い、思考を促す資料の提示、ブレインストーミングなどは取り入れるが、実習や実験などは取り入れないように配慮する。

令和 3 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

外国語(英語)

問 1 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第4章 外国語活動 第1 目標」に示されている内容である。文中の ① ~ ④ に当てはまる語句の正しい組合せを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。なお、同じ番号の箇所には、同じ語句が入る。

- (1) ① を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と ① との音声の違い等に気付くとともに、① の音声や基本的な ② に慣れ親しむようにする。
- (2) 身近で簡単な事柄について、① で聞いたり話したりして自分の考えや ③などを伝え合う力の素地を養う。
- (3) ① を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、④ に配慮しながら、主体的に ① を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	①	②	③	④
ア	英語	表現	好み	他者
イ	英語	文構造	気持ち	他者
ウ	外国語	表現	気持ち	相手
エ	外国語	文構造	好み	相手

問 2 「小学校学習指導要領」の「第4章 外国語活動 第2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標」の「(2) 話すこと[やり取り] ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。」について述べた内容として、適切でないものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 英語に初めて触れる児童にとって、安心してコミュニケーションが図れるように、学級の友達や教師、知っている ALT 等とのやり取りを設定する。
- イ 英語に初めて触れる中学年では、挨拶や感謝、簡単な指示等を機械的なやり取りを通して行い、コミュニケーションの大切さ、楽しさを実感させる。
- ウ 挨拶や感謝をしたり、簡単な指示を出したりそれに応じたりする必然性のある場面設定を行う。
- エ 高学年の外国語科における「基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする」という目標につながる。

問 3 『小学校学習指導要領解説』の「第 1 部 外国語活動 第 2 章 外国語活動の目標及び内容 第 2 節 英語 2 内容〔第 3 学年及び第 4 学年〕〔思考力, 判断力, 表現力等〕(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項」における「ウ 話すこと〔発表〕」について述べた事項として適切でないものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 聞き手もうなずくなどの反応を返して相手の話を受容しようとするなどの態度を育てることに留意する必要がある。

イ 児童の発達の段階や興味・関心に沿った, 「話したくなる」適切なテーマを設定することが必要である。

ウ 活動形態は学級全体に向けた発表を前提とするが, グループ内での発表も実態に合わせて選択する必要がある。

エ 児童一人一人が自信をもって発表できるよう, 個に応じた支援を行うとともに, 練習など準備の時間を十分確保する必要がある。

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 部 外国語 第 1 章 総説 2 外国語科導入の趣旨と要点」に述べられている外国語科導入の趣旨として示されていないものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 学年が上がるにつれて児童生徒の学習意欲に課題が生じるといった状況や, 学校種間の接続が十分とは言えない状況も見られている。

イ グローバル化が急速に進展する中で, 外国語によるコミュニケーション能力は, 生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され, その能力の向上が課題となっている。

ウ 平成 23 年度から小学校高学年において外国語活動が導入され, その成果が認められる一方で, より体系的な学習が求められることなどが課題として指摘されている。

エ アジアを含む諸外国では, 小学校段階から教科として英語を学ぶ機会が保証されている中, 我が国の英語教育開始期について課題が指摘されている。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標 (5) 書くこと」に基づいた指導について、適切な内容を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるように指導する。

イ 3文字程度の単語を、音声を聞いて書くことができるように指導する。

ウ 日常的な話題について、簡単な語句や基本的な表現を用いて正確に書くことができるように指導する。

エ 十分に書けるようになった簡単な語句や基本的な表現を、話せるように指導する。

問 6 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 部 外国語 第 2 章 外国語科の目標及び内容 第 2 節 英語 2 内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔思考力、判断力、表現力等〕(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ア 聞くこと」に基づき、実際の「聞くこと」の活動として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ALT が自国で行われている行事を紹介する英語を聞いて、その行事が行われる月を表すカレンダーの絵を選ぶ活動。

イ 持っているものを紹介する英語を聞いて絵に丸を付け、自分と相手との共通点を探す活動。

ウ 就きたい職業について話している英語を、その内容に関するイラストや写真を見ながら聞き、話し手が誰なのかを選ぶ活動。

エ 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。

問 7 「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔知識及び技能〕(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文及び文構造」において、述べられていない内容を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 肯定、否定の命令文

イ 動名詞や過去形のうち、活用頻度の高い基本的なものを含むもの

ウ [主語＋動詞＋目的語]のうち、

主語＋動詞＋ $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \end{array} \right\}$

エ 感嘆文のうち基本的なもの

問 8 「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔知識及び技能〕(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ア 音声」において取り扱う事項として「(エ) 文における基本的なイントネーション」が示されている。会話文の文末のイントネーションとして、誤りを含むものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア A: Do you like music?  B: Yes, I do. 

イ A: Where do you want to go?  B: I want to go to Italy. 

ウ A: What do you like?  B: Pardon? 

エ A: What subjects do you like?   
B: I like science,  math,  and English. 

問 9 「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔知識及び技能〕(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文及び文構造」において、取り扱う事項が示され、その中には疑問文も含まれている。

以下の疑問詞で始まる疑問文において誤りを含むものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア What food do you like?
- イ When is your mother's birthday?
- ウ How many sheep are in the zoo?
- エ Who want to go to Italy?

問10 『小学校学習指導要領解説』の「第1部 外国語活動 第2章 外国語活動の目標及び内容 第2節 英語 2 内容〔第3学年及び第4学年〕〔思考力, 判断力, 表現力等〕(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ア 聞くこと」では, 「聞くこと」に関わる指導の要点を解説している。「聞くこと」に関する次の英文を読み,  ~  に当てはまる語句の正しい組合せを, 下のア~エから一つ選んで記号で答えなさい。

Annamaria Pinter(2006).  
Teaching Young Language Learners

許諾を得ておらず不掲載

	①	②	③	④
ア	avoid	familiarity	modify	meaning
イ	avoid	nationality	modify	ability
ウ	achieve	familiarity	think	meaning
エ	achieve	nationality	think	ability